

いわての木を使った家で
暮らしてみませんか？
岩手県では、県産木材の利用を
積極的に提案する建築士や工務店等を
紹介するホームページを開設しています。



いわて木の家ナビ

<http://iwatemoriren.org/navi/>

運営／岩手県森林組合連合会
[木とくらしの相談所]

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-15-17
TEL.019-654-4411(代表) FAX.019-654-4420

I W T E
↑
県産 | 木材
DESIGN BOOK

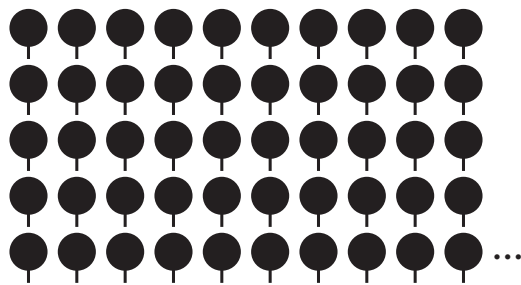
いわての木材を使おう

全国有数の森林県である岩手県は、豊富な樹種に恵まれ、様々な用途に合わせた木材の利用が可能です。このブックで県産木材の多彩な使い方や色や雰囲気を感じていただき、積極的に利用してみたいかがでしょうか。

豊富な樹種

岩手県は、本州一の森林面積を有する森林県です。県土の約8割を占める森林には、県の木である「ナンブアカマツ」をはじめスギやカラマツなどの針葉樹のほか、ナラやクリ、ケヤキなどの広葉樹も豊富で、多様な樹種がバランスよく生育しています。その種類は実に様々で、住宅などに使われる用材は、針葉樹で10種類以上、広葉樹は50種類以上にのぼります。全国的に針葉樹が多い中で、広葉樹が豊富な岩手の森林はとても貴重。好きな樹種を選べることは、岩手に暮らす特権です。

[広葉樹/50種類以上]

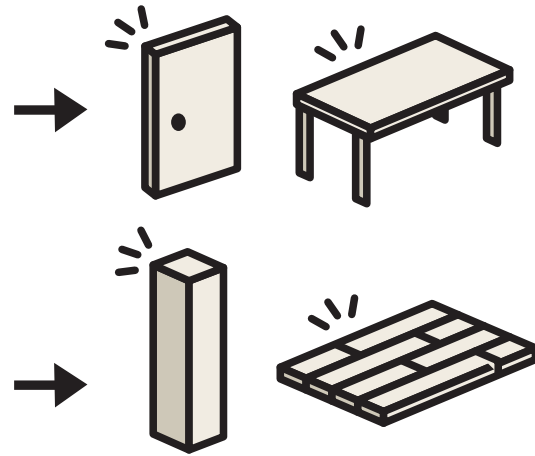


[針葉樹/10種類以上]



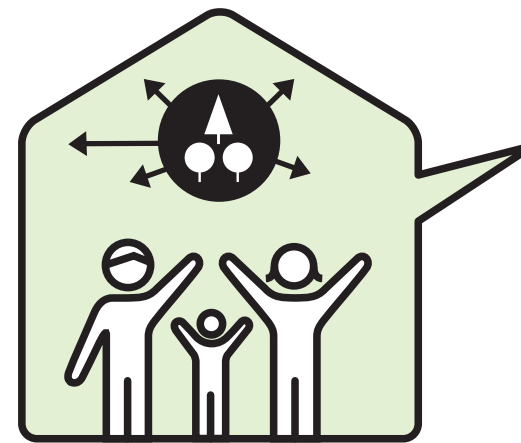
用途に適した材料

一人ひとりに個性があるように、樹種によってその性質もずいぶん違います。ナンブアカマツは、幹がまっすぐできめ細かく、材色が美しいことから、神社・仏閣などに広く使用されます。堅くて傷がつきにくいカラマツは床材に、木目が美しく、重くて堅いケヤキは家具に使うなど、樹種が豊富な岩手では、用途に合わせて使い分けことができます。また、木材は温度変化が緩やかなため、触れても冷たさを感じにくいのも特徴の一つ。直接手に触れる部分に用いることで、暖かな空間づくりをすることができます。



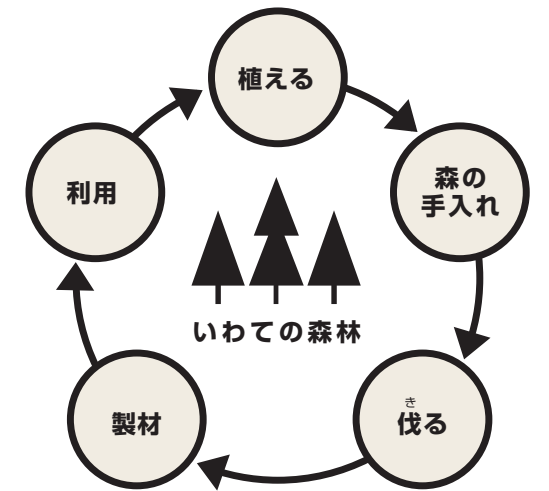
木の効用

木造住宅に足を踏み入れた時、清々しい香りに心地よい気分になったことはありませんか。この香りの正体は、木が発する天然成分・フィトンチッド。心を落ち着かせ、殺菌や防臭にも効果があります。また、調湿機能によって、ジメジメする時は湿気を吸ってダニやカビの発生を抑え、乾燥した時は湿気を吐き出し、室内環境を快適に保ちます。他にも、断熱・保温効果や紫外線の吸収など、様々なメリットをもたらしてくれる木の家。ご家族の健やかな暮らしを、優しく守ってくれます。



岩手を育む県産木材

豊かな森林資源を木材として有効利用することは、地域の林業や木材産業を元気にし、経済を活性化することにつながります。そして、「植える、育てる、使う、植える」という循環を生み出すことで、森林を健全に保ち、土砂災害や地球温暖化などの問題から私たちの暮らしを守ります。県産木材を利用することは、岩手を守り、育むこと。森林の恩恵を次世代に引き継ぐためにも、県産木材を活用してみませんか。





主な
使用木材

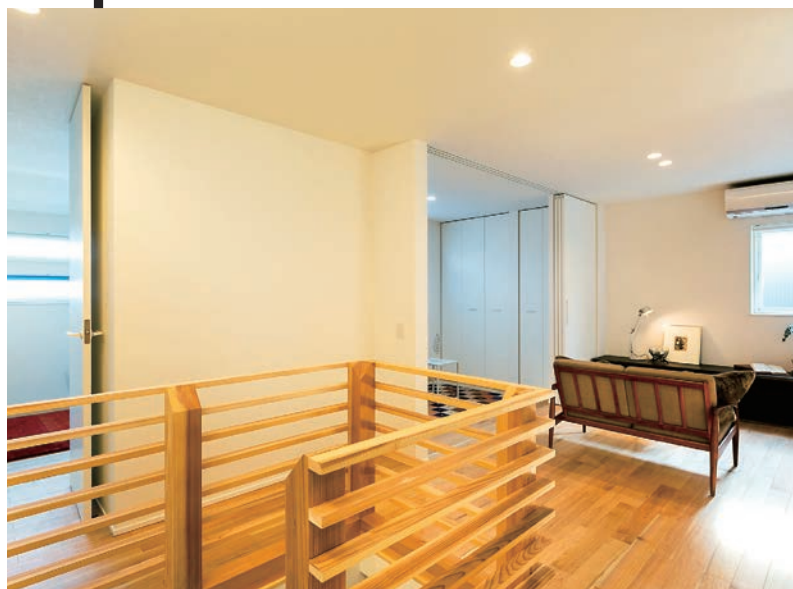
- ◎床 / オニグルミ
- ◎梁 / カラマツ
- ◎柱 / スギ
- ◎カウンター / オニグルミ

印象的な梁はカラマツ、床やキッチンカウンターには、優しい色合いの県産オニグルミを使用し、木のぬくもりあふれる住まいに。水周りやキッチンは行き来しやすい設計になっており、子どもたちが元気に走り回れるスペースです。

DESIGN
01

住宅

木目と壁の コントラストを楽しむ家



DESIGN
02

住宅

火のある時間を 愉しむ家



床や柱、面格子の間仕切りなど、すべてに県産のスギを使用。吹き抜けを通じて、美しい木肌が2階にもつながっています。薪ストーブの暖かさ、塗り壁の優しい風合い、木の心地よさ。温かなぬくもりが豊かな暮らしを包み込みます。

主な
使用木材

- ◎床 / スギ
- ◎柱 / スギ
- ◎梁 / スギ
- ◎カウンター / カツラ





50代のご夫婦がこれからの人生を考え、必要なものをコンパクトにまとめたプラン。外壁や天井には凛としたスギを配し、浴室も木のぬくもりがあふれる空間に。住まいと合わせて12坪のガレージを付けた、車庫併用住宅です。

主な使用木材
 ◎天井・外装 / スギ
 ◎柱 / スギ
 ◎構造材 / アカマツ、スギ



DESIGN

03

住宅

ガレージのある平屋



木をふんだんに使い、温かで親しみやすい空間に仕上げました。バックバーには、柔らかな印象のオニグルミを。お客様が寛ぐカウンターには、7種類の広葉樹を組み合わせて、座る席によって見え方が変わる面白さを演出しています。

DESIGN

04

店舗

座る席で見え方が違う
カウンターバー

主な使用木材
 ◎床 / スギ
 ◎壁 / オニグルミ(一部)
 ◎カウンター / ケヤキ、セン、ナラ、イタヤカエデ、オノオレカンバ、オニグルミ、トチ





- 主な
使用木材
- ◎床/ナラ
 - ◎天井/スギ
 - ◎柱/スギ、クリ、エンジュ
 - ◎梁/アカマツ



DESIGN

05

住宅

木の表情が美しい 三世代の家

築60年の2階建住宅を、三世代家族が同居する平屋にリノベーション。リビングを広々とした空間にするために、長く大きなナンブアカマツで大屋根を支え、古い柱を除去。前の家の建具類を再利用できるのも無垢材ならではのメリットです。



主な
使用木材

- ◎床/カラマツ
- ◎外壁/スギ
- ◎柱/スギ
- ◎梁/アカマツ、カラマツ



住宅

木目の美しい 外観の家

美しい板張りの外観が印象的な家です。天井の梁がアクセントになり、木のやさしい温もりが感じられる空間となりました。リズムカルな階段が全体の雰囲気さをきりと引き締めます。





DESIGN

07

住宅

猫と暮らす、光あふれる木の家



家族だんらんの中心となるリビングは、最大3.5mの天井高を確保した光あふれる空間に。キャットタワーとキャットウォークもオリジナルで作り、壁は爪を研いでも補修が効く塗り壁に仕上げました。カウンターには、手触りのいい県産ナラを使用。

主な
使用木材

- ◎ 柱/スギ
- ◎ カウンター/ナラ
- ◎ キャットウォーク/ナラ



主な
使用木材

- ◎ 床/ナラ
- ◎ ドア/クリ
- ◎ カウンター/ナラ、ツガ

入り口にスロープをしつらえた、バリアフリーのイタリアンレストランです。床にはナラのフローリングを貼り、シックで落ち着いた雰囲気に。そのほかクリ、ツガなど随所に県産木材を使っています。



DESIGN

08

店舗

木のぬくもりがもてなすレストラン



施主×建築士
 INTERVIEW

光が差し込むリビングは子どもたちも大好きな場所。

伊藤さんご夫妻と3人の娘さんたちが暮らす住まいは、普通の家とは少し成り立ちが違います。使った木材は、伊藤さんの父親が育てた山の木。この家には、父から息子へと大切に受け継がれた家族の物語がありました。

木の肌触りに癒される暮らし

岩手県花巻市／伊藤さんファミリー×長澤紗織設計室

山の調査から家づくりまで、すべてのプロセスを見届ける

住まいに使われる木材が、どこで育ち、どのようにして届くのか、皆さんはご存知でしょうか。通常は工務店などにお任せするものですが、そのプロセスのすべてを見届けた人がいます。自分の山の木で家をつかった、伊藤さんご家族です。

「家を建てようと思った時に頭をよぎったのが、幼い頃に父と世話をした山の木でした。お前が大きくなる頃には、この木で家が建てられるぞ、と父に言われた言葉を思い出したんです」と話します。しかし、何をどうすれば実現できるのか、その方法がわからない…。県産木材の利用を相談できる設計士や工務店情報を提供する「いわて木の家ナビ」で探した設計士の長澤紗織さんに相談メールを送ったのが、このプロジェクトの始まりでした。

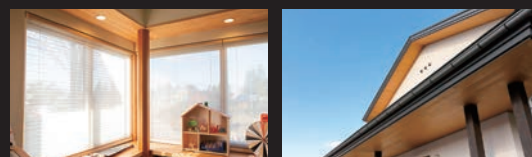
「県産木材を使って家を建てることはありますが、自分の山の木で建てるというオーダーは初めて。私自身も挑戦でした」と、長澤さんは振り返ります。通常であれば、家に使う木材は製材所から仕入れるもの。しかし伊藤さんの場合は、自分の山の調査からスタート。森林組合の力を借りて山の状態を調べ、約4haの木を伐採。家づくり



設計士の長澤紗織さんと伊藤さんファミリー。



家ができてから「友人を招くことが多くなった」と話す、伊藤さんご夫妻。



リビングや屋根・玄関の庇にも木をアクセントに。



「豊富な樹種があるので、木の魅力を知ってほしい」と話す長澤さん。



ダイニングに置いた一枚板のテーブルも家族のお気に入り。

に使う分だけを取り分け、残った丸太は競りに出し、売れた分は伊藤さんに還元されました。

「調査の段階からすべてのプロセスに立ち会ったのですが、普通の家づくりでは出会えない人や経験できないことばかり。とても興味深かったですし、こんなにも多くの人に関わってくれていることに感動しました」。伐採後は、家族で山に行き記念の植樹をしたという伊藤さん。「自分たちの家の木がどんな場所で育ったのか、子どもたちにも見てほしかったんです」と、話します。

木のぬくもりに癒されて、家にいる時間が心地いい

山の調査から着工するまでの9ヶ月を、自分の目で見届けた伊藤さん。家づくりの段階でも、頻繁に現場に出かけ、作業を手伝ったといいます。「玄関脇の漆喰の壁は、子どもたちと一緒に塗ったもの。デッキやブラインドの塗装や器具の取り付けもやって、大工さんの一人に間違えられたほど(笑)」。自ら作業に参加して、一緒に作り上げた住まいは、木のぬ



家族みんなで仕上げた漆喰の壁。

くもりがあふれる素敵な空間に仕上がりました。

白い外壁には、シックな色に塗ったスギをアクセントに。柱や天井にもスギを使い、1階床にはカラマツ、2階床にはスギを。トイレや浴室にも、木をふんだんに使っています。「木の特性を生かし、用途に適した木を使っています。でも、全部木で仕上げると疲れてしまうので、程よい加減が大事」と、長澤さんは話します。

プランニングのポイントは、家事をしながらリビングにいる子どもたちに目を配れる、オープンキッチン。高台からの眺めを楽しむために、敢えて北側に設けたリビング。そして食品から家具まで、あらゆるものを収められる十分すぎるほどの収納スペースなど、奥様やご家族のこだわりを形にした使い勝手のいい住まいです。

「この家ができてから、家で過ごす時間が増えました。子どもたちも裸足ですし、しょっちゅう床でゴロゴロしています」と奥様。「家づくりの全てに関わることができて、すごく楽しかった。家が完成した時、山で木を切り出した人たちも見学に来てくれたんですよ」と伊藤さんが話すように、多くの人の思いが込められた伊藤家の住まい。

このご家族のように、自分の好きな木を選んで家づくりをすることもできますので、設計士や工務店に相談してみてもいいかもしれません。



DESIGN
10

住宅

暖炉のある モダンな木の家



暖炉を中心とした吹き抜けの広いリビング・ダイニングは、4世代の家族が集う寛ぎの場。床はクリ、柱はスギ、リビングの化粧梁は丸太から選んだこだわりのアカマツ。木のぬくもりと暖炉の暖かさが、暮らしを優しく包み込みます。



主な
使用木材

- ◎床／クリ、アカマツ
- ◎天井／スギ
- ◎柱／スギ
- ◎梁／アカマツ
- ◎上がり框／カツラ

DESIGN

09

住宅

岩手の恵みを活かした家

仕事の打ち合わせスペースも兼ねた住まいは、3世代の同居住宅。それぞれに居心地のいい場を作りつつ、つながりのある空間設計に。印象的な外壁はスギ、床には7種類の樹種を使うなど、岩手の恵みを活かした心地よい住まいです

主な
使用木材

- ◎外壁／スギ
- ◎床／クリ、ナラ、オニグルミ、サクラ、イタヤカエデ、アカマツ、カラマツ
- ◎天井／オニグルミ





特徴的なのは、南側に設けた大きな掃き出し窓。たっぷり日差しが差し込み、冬になると太陽の熱を取り込みます。階段と踊り場には、節目のない美しいカラマツを。床にはクリ、天井にはスギと、清々しい木の空間が広がります。



DESIGN

12

住宅

木に囲まれて暮らす家

主な
使用木材

- ◎床／クリ、スギ
- ◎天井／スギ
- ◎柱／スギ
- ◎手摺／カラマツ



主な使用木材

- ◎天井・外装／スギ
- ◎柱／スギ
- ◎カウンター／カツラ



DESIGN

11

店舗兼
住宅

木のぬくもりに安らぐ 店舗併用住宅

旬の食材を大切に料理でもてなす、創作料理店と住まいを兼ねた木の家。店の顔になるカウンターにはカツラの一枚板を、天井や間仕切りにも木をふんだんに使い、落ち着いた空間に。厨房の窓からは、桜や木々の表情が楽しめます。



DESIGN
13

住宅

暮らし方でゾーンを分けた 木の家

住まいをリビング中心のバブリックゾーンと、寝室のある
プライベートゾーンに分け、渡り廊下でつなぐ半面構成に。
窓枠や和室、床、柱にはスギを使い、たっぷりの針葉樹と薪
ストーブに癒される空間に仕上げました。

主な使用木材

- ◎床 / スギ
- ◎敷居・鴨居 / スギ
- ◎柱 / スギ



DESIGN
14

住宅

様々な 木が彩る 平屋の家

若夫婦が暮らす平屋の離れ。日々楽しく
通れるように、母屋から続くポーチの床には
飛び石を、スギの外壁は巾や色に変化を
つけて。トチ、カツラ、イタヤなど、仕上げに
使った樹種は10種類以上。適材適所にバラ
ンスよく配置しています。

- 主な
使用木材
- ◎床 / カラマツ
 - ◎天井 / スギ
 - ◎壁 / スギ、アカマツ、ナラ、クリ、ヤマザクラ、
オニグルミ、イタヤカエデ、ケヤキ
 - ◎内装 / セン、トチ、カツラ、アサダ
 - ◎柱 / スギ
 - ◎梁 / アカマツ

